



議会だより

第25号

みなべ

平成23年5月1日

発行 みなべ町議会
編集 議会広報特別委員会
〒645-0002 和歌山県みなべ町芝742
TEL 0739-72-1334
FAX 0739-72-1335



開通した国道424号(高城工区)

3月定例会

平成23年度当初予算 P2~3

予算などの議案審議 P4~5

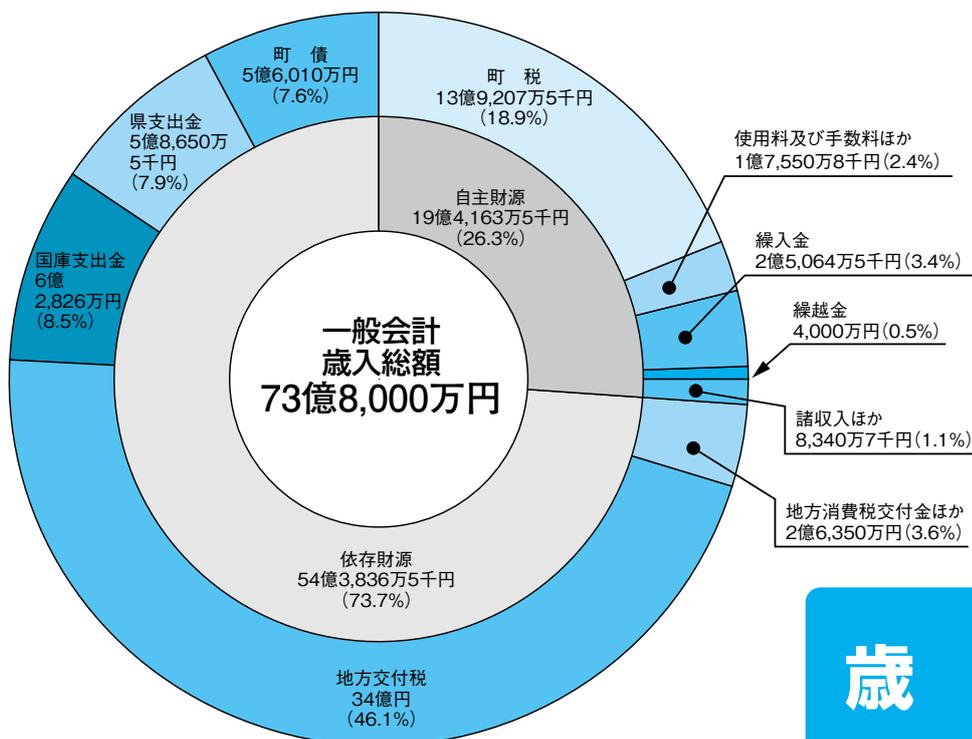
一般質問に6人の議員が登壇 P6~11

地域活性化交付金、委員会報告 P12~14

平成23年度一般会計予算

73億8,000万円

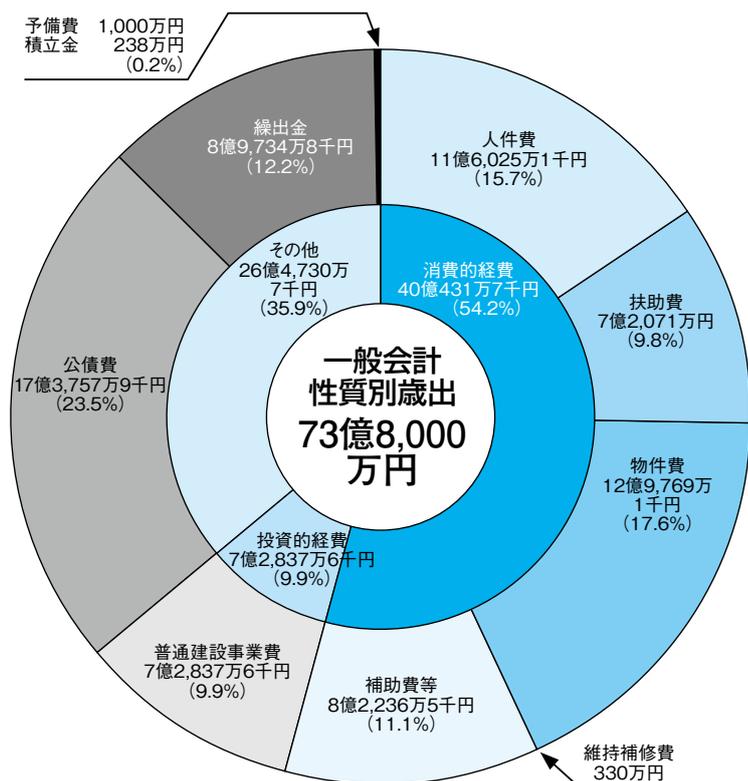
(昨年より8億9,000万円減)



歳入

平成23年度第1回定例会では、平成23年度の一般会計と特別会計の当初予算について、慎重審議した結果、それぞれ可決しました。

一般会計では、前年度との比較で、8億9,000万円減少しています。その減少した主な内容は、一般廃棄物最終処理場



歳出

の再生工事の終了、黒潮フールツライン区域農用地総合整備事業や岩代小学校校舎改築工事の完了に伴う減少です。

特別会計では、国民健康保険や介護保険などで、前年度より増加し、公共下水道事業や簡易水道事業などで減少しています。

平成 23 年度 みなべ町当初予算総括表

一般会計、特別会計

(▲は減額・率)

会計名	平成 23 年度	平成 22 年度	増減額	増減率
一 般 会 計	73 億 8,000 万円	82 億 7,000 万円	▲ 8 億 9,000 万円	▲ 10.8%
特 別 会 計	46 億 5,553 万 4 千円	46 億 9,714 万 1 千円	▲ 4,160 万 7 千円	▲ 0.9%
国 民 健 康 保 険	19 億 2,783 万 7 千円	19 億 478 万 4 千円	2,305 万 3 千円	1.2%
後 期 高 齢 者 医 療	2 億 4,439 万 5 千円	2 億 5,119 万 7 千円	▲ 680 万 2 千円	▲ 2.7%
老 人 保 健	0 円	116 万 5 千円	▲ 116 万 5 千円	▲ 100.0%
介 護 保 険	12 億 3,055 万 3 千円	11 億 5,839 万 6 千円	7,215 万 7 千円	6.2%
住 宅 新 築 資 金 等 貸 付 事 業	2,709 万 3 千円	1,194 万 9 千円	1,514 万 4 千円	126.7%
農 業 集 落 排 水 事 業	2 億 8,774 万 6 千円	2 億 9,363 万 8 千円	▲ 589 万 2 千円	▲ 2.0%
公 共 下 水 道 事 業	8 億 4,660 万 9 千円	9 億 4,617 万 9 千円	▲ 9,957 万円	▲ 10.5%
簡 易 水 道 事 業	9,130 万 1 千円	1 億 2,983 万 3 千円	▲ 3,853 万 2 千円	▲ 29.7%
合 計	120 億 3,553 万 4 千円	129 億 6,714 万 1 千円	▲ 9 億 3,160 万 7 千円	▲ 7.2%

水道事業会計 (資本的収支の不足額は積立金で補填します)

収 益 的 収 入	1 億 4,599 万 1 千円	1 億 4,708 万円	▲ 108 万 9 千円	▲ 0.7%
収 益 的 支 出	1 億 2,369 万 8 千円	1 億 3,331 万 6 千円	▲ 961 万 8 千円	▲ 7.2%
資 本 的 収 入	6,273 万 7 千円	1 億 861 万 7 千円	▲ 4,588 万円	▲ 42.2%
資 本 的 支 出	2 億 6,284 万 6 千円	2 億 8,430 万 9 千円	▲ 2,146 万 3 千円	▲ 7.5%

一般会計歳出の主な事業と予算額

■議会費	1億 419万8千円 (2,191万6千円増)
■総務費	6億8,712万8千円 (▲5,400万2千円)
財産管理費	3,681万7千円
交通安全対策費	765万6千円
地籍調査事業費	1億3,687万1千円
無線放送管理費	886万1千円
地域公共交通対策費(コミバス等運行業務委託料など)	1,603万6千円
選挙費(県議員一般選挙費など)	962万4千円
■民生費	17億5,263万6千円 (7,185万6千円増)
社会福祉総務費	3億7,251万3千円
老人福祉費	9,585万7千円
保険医療費	5億8,151万7千円
児童福祉総務費	3億4,497万1千円
保育所費	3億4,699万6千円
■衛生費	5億8,674万円 (▲2億9,652万3千円)
保健衛生総務費(公立紀南病院組合分賦金など)	9,140万5千円
予防費(予防接種委託料など)	7,138万5千円
環境衛生費(田辺市周辺衛生施設組合負担金など)	1億8,547万7千円
塵芥処理費(施設維持工事費など)	1億5,545万6千円
■農林水産業費	10億7,608万8千円 (▲6,267万4千円)
うめ振興費	7,744万円
南紀用水事業費	1億7,459万1千円
中山間地域等直接支払事業費	1億5,510万7千円
農地費(小倉谷地区農農道整備工事費など)	1億1,783万5千円
農用地総合整備事業費	1,527万2千円
備長炭振興費	1,507万8千円
水産業総務費	1,062万3千円
漁村再生交付金事業費(岩代漁港施設整備工事費など)	5,826万2千円

津波危機管理対策緊急事業費(堺漁港海岸津波対策工事費など)	7,760万4千円
■商工費	5,772万9千円 (▲419万4千円)
商工総務費	3,397万円
観光総務費	1,454万9千円
鶴の湯管理事業費	921万円
■土木費	5億4,261万4千円 (▲8,437万5千円)
道路橋梁総務費	5,232万2千円
道路新設改良費	1,494万4千円
社会資本整備総合交付金事業費(町道埴田堺線工事費など)	8,353万1千円
河川総務費	442万3千円
住宅管理費	1,789万8千円
地域住宅交付金事業費(猪野団地住宅改修工事費など)	1億2,003万円
■消防費	2億7,600万8千円 (489万1千円増)
常備消防費(日高広域消防事務組合負担金)	2億1,081万9千円
非常備消防費(消防団員退職報償金、小型動力ポンプ普通積載車購入費など)	4,508万8千円
防災対策費	1,801万1千円
■教育費	5億4,928万円 (▲4億6,640万8千円)
教育諸費(非常勤講師賃金・教育介助員賃金など)	5,565万3千円
小学校費	8,216万2千円
中学校費(上南部中テニスコート新設工事費など)	6,007万4千円
給食施設費(学校給食センター実施設計業務委託料など)	4,898万3千円
■公債費	17億3,757万9千円 (▲2,048万7千円)
町債(元金、利子)を返済するための費用	
■予備費	1,000万円 (増減なし)

議案審議

3月定例会では、「みなべ町最終処分場浸出水処理施設建設工事請負契約の締結について」や、条例改正では「国民健康保険条例の一部を改正する条例」など3件、予算では「平成22年度一般会計補正予算と平成23年度一般会計」など9件が上程されました。各議案には活発な質疑があり、特に平成23年度予算では、3月14日から17日までの4日間行われました。その一部を報告します。

公債費

Q 公債費残高が、約10億円減る見込みだが、公債費適正化計画どおりに進んでいるのか。

A 計画よりは下回っています。最終年度（平成27年度）の公債費比率は現在よりも約5%下がり、17%台になる予定です。

合併特例債

Q 合併特例債の限度額と、残り利用可能額は。

A 総額63億2千万円で、あと21億7千万円の利用が可能です。

大変有利な起債でありますので、有効的に活用したいと思っています。

前立腺ガン検診

Q 前立腺ガン検診の対象者は。

A 前立腺ガン検診は、40歳以上の方で、国民健康保険加入者で750名程度と、国民健康保険の特定健診で該当しない社会保険の加入者の100名程度と見込んでいます。

特定健康診査 (ミニドック)

Q 特定健康診査の受診率改善に向けての取り組みは。

A 特定健康診査は、35〜74歳を対象に実施します。自分の健康管理のため、特定健康診査を受けていただくような環境づくりに努めていきます。

職員数の推移

Q 職員数は、適正化計画どおりか。

A また、新規採用の計画は、合併10年後の職員数の目標、130人半ばを達成しました。職員採用は3〜4名ずつと考えています。

書庫の警備

Q 黒潮フルーツライソンの事務所を書庫に転用するにあたり、警備は万全か。

A 夜間警備は、セコムに委託します。また、個人のプライバシーに関係する書類は、できるだけ置かないように検討します。

コンビニ収納状況

Q コンビニでの収納状況は。

A 県内10市町で導入し、当町は昨年4月から実施しています。1年間の収納件数は約3千件で、収納額は5千8百万円となっています。

老人福祉費

Q 報酬費のなかの、長寿祝いの中で、何歳から祝いを支払っているのか。

A 長寿祝い金は、9月1日に住民登録のある82歳以上95歳未満の方は5千円です。95歳以上の方は1万円、新百歳の祝いについては、5万円の商品券です。

社会福祉協議会補助金

Q 社会福祉協議会への補助金、1割の減額になっているが。

A 社会福祉協議会への補助金の減額理由は、人件費です。平成22年度は8名分でしたが、平成23年度は7名分です。



書庫予定建物



敬老会

防災

Q 東日本大地震での大津波警報に基づき、避難指示が出されたが、町民の反応は。

A 3月11日午後4時の避難指示では、岩代公民館へ2世帯の3名と、堺区民センターへ1名、午後6時の避難指示では、避難箇所10箇所へ82名の方が避難しました。

Q 南部川の右岸・左岸の堤防について、大きな津波が来ると、大変

津波情報

Q 今回の東日本大地震での警報放送は、紛らわしかったのでは。

A 大津波警報から津波警報に変わったと



な事態が発生することも想定されるのでは。

A 南部川は、県管理の2級河川ですのので、県に対して、働きかけていきたいと思えます。



2級河川 南部川

防災助成金

Q 婦人防火クラブ助成金と、自主防災組織補助金の基本的な考え方を聞きたい。

A 婦人防火クラブの補助金は、上南部地区を除いた24地区で設置されており、防災意識の向上と防火活動を行っています。なお、未設置の上南部地区7地区については、区長さんを通じて設置のお願いをしているところです。

自主防災組織については、34地区の全てに設置されていて、防災資機材の購入に対する補助ということで、予算計上しています。

教育費

Q 適応指導教室で学んでいる児童、生徒の人数について、学校・学年別の人数を聞きたい。

A 学校別に、南部小学校が4名、清川中学校が1名です。

学年別では、小学校1年生が1名、3年生が1名、5年生が1名で、中学生では1年生1名、2年生が1名、3年生が3名です。

保育所の耐震化

Q 保育所の耐震化工事は、すべて完了しているのか。

A 清川保育所が残っていますが、新たに耐震改修をするのか、または、広い園庭に建て替えるのかを考えています。



清川保育所

保育所の職員数

Q 保育所の正職員数と臨時職員数について聞きたい。

A 南部保育所の正職員7名・臨時職員6名、上南部保育所の正職員7名・臨時職員13名、高城保育所の正職員3名・臨時職員4名、清川保育所の正職員3名・臨時職員1名で、以上正職員20名・臨時職員24名の合計44名です。

町営住宅

Q 地震が統発している時期であり、一日も早い移転を行うべきと思うが。

A 当初は、年度内の計画でしたが、諸事情などにより4月末の工事完了予定となっていて、入居できるのは、5月からとなります。

Q 住宅の改修工事の時期ですが、冬場ではなく、もっと気候のよい時期に工事できないか。

A 本年度は、冬場の工事にならないように行いたいと思っています。



井之台住宅

一般質問

一般質問は3月9日に6人の議員が行いました。(質問者から提出された原稿とおり掲載しています)



田中昭彦 議員

役場職員の矜持が聞きたい

(きょうじ：誇りの意)



みなべ町役場庁舎

質問 今回の役場内で起こった不祥事で思うことは、みなべ町職員には、公務員としての矜持を持っていないのでは、と言つております。

そこで職員に対し、自分が担当している職務を通じて、抱負やモットー・志・決意表明を文書にして、それを「座右の銘」として仕事に活かして、励んでいただきたい。

町長 新採職員時代は、高い志を持って仕事していると考えられますが、長年経つと、その感覚が薄れているのだと感じています。

今後は、法令遵守や行儀作法の職員研修などに、モラルの研修を加えていきたいと考えています。さらに、職員研修が終わってから、個々に抱負や志についての小論を提出させ、職員意識改革にも努めていきたいと考えています。

公務員は全体の奉仕者

せ、職員意識改革にも努めていきたいと考えています。

質問 憲法にも、公務員は全体の奉仕者と規定されています。その精神を再認識して、職務に取り組んでいただきたい。

町長 憲法と同じく、地方公務員法にも同様の規定があり、これを熟読するように話しています。

研修に参加して、一から初心にかえり、地方自治の本旨の実現に資することを目的に、全職員が一丸となって取り組んでいきます。

風評被害にならないように

質問 この事件で町民は、他市町村民に対し、肩身の狭い思いをしています。

さらに、日本一の南高梅の産地として、全国に発信していますが、風評被害により一夜で、その名声が崩れる恐れもあります。汚名返上として、職員の意識改革には、真剣に取り組んでいただきたい。

町長 各分野の各団体や関係機関にわたり、「梅の町みなべ町」の梅を全国的にPRしている最中だけに、風評被害へとつながる恐れがあります。取り返しのつかないことにはならないように、初歩的な部分から研修に努めていきたいと考えています。

その他に非構造部材の点検

大地震に備え、天井・外壁・窓ガラス・家具類・照明器具などの非構造部材の点検が必要ではないかと、質問しました。



原田 覚 議員

繰り返される 不祥事について

質問

私が議員となつてから2年目、4度目の職員の不祥事です。綱紀粛正、信頼回復に努めていた中、さらに町民の信頼を著しく損なつたことは、非常に残念でなりません。

町行政に対する町民の不信任はさらに強まり、当局や議会に対して、大変厳しい声が寄せられています。

また、職員の中にも、不信任や憤りを感じている者がいるのではないかと思います。

以前、町職員が一丸となり信頼回復に努めると言っていました。が、一丸になっているとは言えません。



繰り返される不祥事、今後どうすればなくなると考えているのか、お聞きしたい。

町長

職務に対する研修は当然ですが、それ以前に、人間としてどうあるべきなのかという分野の研修が必要と考えます。

新採時に、服務の宣誓を行います。その時の気持ちをもち続けていただく方法についても検討したいと思ひます。

道徳的な部分にどこまで踏み込めるのか、非常に難しいですが、そう言うことについても考えています。

質問

町民の皆さんと、信頼関係を築くには、まず職員同士の信頼が大切であると思ひますが、職員同士のコミュニケーションは取れているのか、お聞きしたい。

町長

合併時に、お互い互譲の精神で行



うということをやってきましたが、専門的な講師をお招きし、基本的な部分から研修をしながら時期ではないかと思ひています。

それを重ねることで、町民からの信頼回復できるように、努めていきたいと思ひます。

元気な町づくり

質問

本年も、梅酒コレクシヨンや町物産展も開催されましたが、今後は、多くの町民が参加できる町挙げてのイベントとして行うことはできないか。

また、マラソンなどのスポーツイベントを行う考えについて、お聞きしたい。

町長

過去に行つていた町商工青年部主

催の商工まつりで、オールみなべ物産展を行うか、または、百年の森で行うかも含めて、早急に検討していきたいと思ひます。

スポーツなどは多くの競技が行われていますが、マラソンにつきましては、最近の交通事情の関係で難しくなっています。

児童・生徒の減少について



北谷清治 議員

質問

少子化の影響により、町内の子供の数が年々減少気味であります。

小学校では、平成23年度全体で859名ですが、平成28年度では743名と、116名の減少予想です。中学校についても、平成23年度全体で429名ですが、平成34年度では345名と、84名の減少予想です。

特に、小規模中学校での生徒数の減少は、高校進学を控えるため、学習面での心配や人間関係、また人数不足のためクラブ活動が出来ないなどの問題が出てきています。

教育委員会として、この現状をどのようにお考えでしょうか、お聞きしたい。

教育長

児童・生徒数の減少傾向の見込みについては、非常に大きな問題であると考えています。清川小学校では、長年続いた複式学級が、平成23年度から平成25年度までの3年間は解消されますが、平



成26年度・平成27年度には1クラス、平成28年度には2クラスが複式学級となります。

また、平成28年度には高城小学校において、1クラスが複式学級となります。ほかの影響としては、学級数の減が生じてきますし、教職員の配置数が変わることとで学校運営にも影響が出てきます。

質問

清川地区では、保育所・小学校・中学校の保護者の皆さんが、統合についての話し合いがあり、アンケートも実施されました。

早期統合は必要だと思えますが、統合すると、その地域がさびれ、活気がなくなるなど心配されます。

統合を進める場合は、地域住民皆さんの意見を集約

国道424号線

清川工区について

質問

清川工区、うろすみ地内に予定されているトンネルの歩道については、通学路であるため十分な幅のある歩道

町長

を要望していただきたい。早い時期にお願いに行けるよう、日程調整を行っています。

教育長

し、見極めていただきたい。教育委員会としては、統合の必要がある認識しています。高城・上南部・南部地区では、その議論はされていませんが、新しい推計値をもとに、各地区で協議していただけるように投げかけしていきたいと考えています。





中井重雄 議員

町の人口を増やすには

質問

今、私は心配しているのは、町の人口が年々減少していることです。

このままの状況推移で経過すると、町の人口は1万人を下回ることも予想されます。

この5年間をみるだけでも、平成19年は14,715人が、平成23年には14,249人と、実に5年間だけで約200名減少しています。

色々な原因があると思いますが、どこの市町村でも問題になっているのは、少子化と結婚しない未婚の男女が多いことです。

私たちの周りの30歳代・

40歳代・50歳代の多くの人が結婚しないで暮らしています。

結婚しない理由は色々ありますが、結婚してからの子育てが大変とか、お金がかかるとか、1人で暮らすのが楽だとか、異性との出会いのきっかけがないなどからだと思っています。

今までも、JAみなべいなみの青年部では、他府県の女性と農業体験と云うことで、出会いをセットする運動を行ったと聞いています。

町の人口減少の歯止めと人口を増やす方法の考えをお聞きしたい。

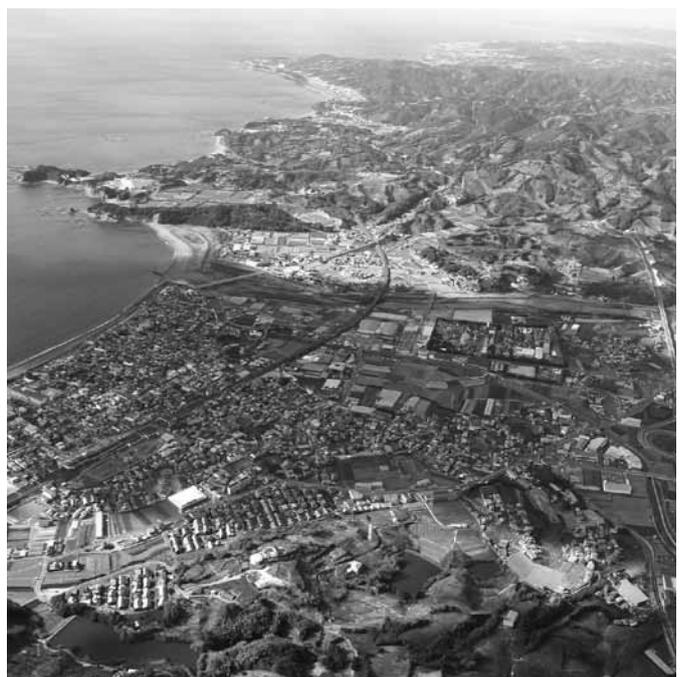


町長

町の人口を増やす方法ということですが、まず考えますのは、働く場を設ける必要があるのではと、その部分では企業誘致が、なかなか進まない状況です。

それと未婚の男女対策につきましては、以前には出雲会がありました。最近若い男女の考えかたも変わってきて、見合いの話に乗ってこないと言うことも聞かれています。

個人それぞれの考え方もありますし、個人のプライバシーに配慮しながら進め



旧町内

質問

ていかなければならないと考えています。

町として、今の人口減少は、どれくらい進むと予想しているのかお聞きしたい。

町長

平成22年度に国勢調査が行われましたので、その結果を踏まえて、今後5年後や10年後の人口推計をみていきたいと考えています。

いずれにしても、人口減少の歯止め策として、何らかのアクションをおこしていきたいと考えています。

子どもの医療費 無料化を拡大へ



山中邦夫 議員

質問

子どもの医療費の無料化、この4月から全県的には、高校卒業までが1町、中学校卒業までが8町村、小学校卒業までが8市町、小学校入学前までが13市町と聞きます。

なかでも、日高郡市内では、高卒までが印南町、中卒までが日高町・由良町・日高川町、そして御坊市・美浜町が小卒までの無料化を検討中と聞きました。

町長も、こうした動きを認識されていたと思いますので、町政策方針に期待していました。

しかし、子どもの医療費

無料化については触れられませんでした。

このままでは、日高郡内でみなべ町だけが、小学校入学前で取り残されてしまいます。

それでも、町としては今のままですか、お聞きしたい。

町長

町としましては、今まで予防のためには、お金を惜しまないというところで、各種施策を行ってきました。

そこで、子ども医療費につきましては、治療の観点からではなくて、予防の観点から早期治療をする、そのことが今後の医療費の抑



質問

もう少し具体的に明らかにしたい。

近隣市町と足並みを揃える必要もあるのではないですか。

制につながるのではないかと考え方を変えました。

そのために、無料化拡大を行って、早期に受診しやすい制度として、子どもの健康を守っていきたく思います。

いずれ考え方などが固まりました時点で、議会の方にも相談を申し上げたいと思っています。

町長

近隣の状況も大事です。医療圏域の状況も考慮に入れなければならぬと思っています。

それで、現在の小学校入学前までで2千万円、小卒までで3千8百万円、中卒までで4千5百万円くらい必要ではないかと思っています。

それと、システムの改修に要する期間も考えなければなりません。

いずれにしても、年度内中に実現するよう取り組んでいきます。





楠本誠二 議員

産業排水の 浄化槽装置設置について

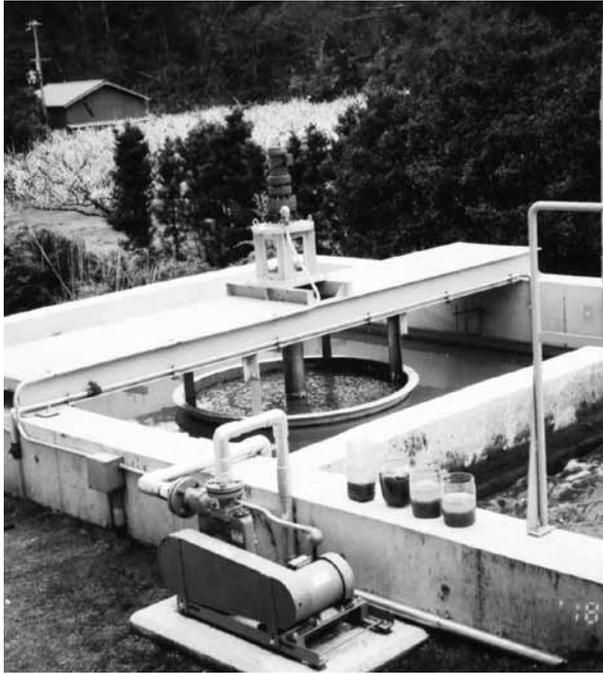
質問

業務用浄化槽機
械装置について、
固定資産税（償却資産）の
減額優遇措置はないのか、
お聞きしたい。

町長

町としましては、
公害防止施設設備
の固定資産税減額優遇制度
の適用条件があります。

1つ目に毎年、町税務課
に償却資産の申告をしてい
ただき、償却資産台帳に記
載されていること、2つ目
に県保健所に特定施設の届
け出をしていること、3つ
目に汚水廃液処理施設は洗
浄施設に該当する浄化装置
などが設置され、処理後に
流される排水が水質汚濁防



浄化槽

止法に基づく一定の基準内
該当し、処理装置に関する
仕様書やその他町が必要と
する書類を提出していただ
きます。

以上の要件を全て満たす
と、固定資産税減額優遇制
度に該当することになりま
す。

平成8年度から平成21年
度までに処理装置が設置さ
れた方は、6分の5が減額
され、平成22年度以降につ
いては、3分の2が減額さ
れます。

以上のような優遇制度が
ありますので、利用してい
ただけたら良いと思いま
す。

公共下への つなぎ込みに ついて

質問

町政策方針の中
の生活排水につい
ては、公共下水道事業、農業
集落排水事業、合併浄化槽
事業に取り組んでいます
が、進捗状況について、お聞き
したい。

町長

公共下水、農業
集落排水のつなぎ
込みなどでありませ
が、現在の予定とし
ましては、平成25年
4月から共和東地区
の農業集落排水を公
共下水へ接続予定、
平成26年4月には
本郷地区が接続、
平成27年4月には
西本庄と共和東地区
接続予定、平成29



4月には晩稲熊岡地区の接
続予定と言うように進めて
います。

料金については、接続地
区から公共下水料金に切り
替えをしていきたいと考え
ていますが、新規に公共下
水へ加入する場合の負担に
つきましては、公共下水道
の受益者負担金制度という
ことで、同じ水量であれば、
公共下水の方が安くなりま
す。

それと、加入につきましては、
当初3年以内に接続
をしていただくと言うこと
でしたが、各家庭のそれぞ
れ事情がありまして、なか
なか進んでいないのが現状
です。

この部分を含めて、低料
金や接続PRに努めていき
たいと思います。

地域活性化交付金の概要

(きめ細かな交付金、安全・安心な学校づくり交付金)

円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策などとして、国の平成22年度補正予算案が決定し、町はこれを受け、1月臨時会と今定例会において、平成22年度補正予算案を上程し、可決されました。

また、今定例会では、以下の事業についての繰越明許（翌年度の繰越事業予算）として上程され、可決されました。

繰越明許費

(単位：千円)

		事業名	事業費
民生費	社会福祉費	二子の里給湯設備改修事業	2,636
農林水産業費	農業費	小倉谷地区農農道整備事業	43,800
		うめ振興館映像システム修繕事業	2,200
		うめ振興館駐車場囲障修繕事業	1,370
	林業費	林道新設改良事業（林道東神野川木の川線）	63,851
	水産業費	南部漁港防潮堤水叩部舗装補修事業	4,000
商工費	商工費	鹿島遊歩道防護柵設置事業	5,000
		鶴の湯宿泊施設維持補修事業	9,500
土木費	道路橋梁費	道路橋梁費維持事業	46,000
		道路新設改良事業	30,000
		社会資本整備総合交付金事業	65,000
	都市計画費	公園遊具設置事業	5,000
		公園遊具撤去事業	3,000
		小日津公園園内整備事業	5,000
	住宅費	地域住宅交付金事業	78,000
教育費	小学校費	小学校施設改修事業	7,340
		南小 屋内運動場耐震改修事業	61,700
	中学校費	中学校施設改修事業	8,600
		上中 屋内運動場耐震改修事業	19,710
		上中 校舎耐震改修事業	204,540
		南中 校舎耐震改修事業	248,590
	幼稚園費	南部幼稚園空調施設設置事業	2,000



天野 仁 議員

在職年数15年表彰



山中邦夫 議員



宮崎常二 議員

在職年数27年表彰

定例会冒頭に、全国町村議長会より永年在職議員表彰に、次の議員が表彰され、議長から伝達されました。

永年在職
議員表彰

総務文教常任委員会

議会閉会中の継続調査として、平成23年2月23日(水)に、給食センターの現地視察と、給食センター整備事業基本構想についての説明を受けましたので、委員会でまとめた一部を、報告します。

◎現地視察



給食センター

上南部小学校のとなりであります給食センターで、教育委員会の説明を受けながら、施設内の見学と用地の状況について視察しました。

この給食センターでは、現在800食の給食を調理し、南部小・中学校を除く町内7校に配食されています。続いて、給食センターを増改築するため用地について説明を受けました。用地については、一部隣接者との調整が必要な所もありますが、用地としては十分な広さを確保されているようでした。

◎給食センター整備事業基本構想

生涯学習センターで、給食センター整備事業基本構想について、教育委員会より説明を受けました。基本構想案場所については、A案からG案までと、それらの案に修正を加えた案も入れると、10案ありました。教育委員会としては、どの案に決定するのか、現時点では、しぼり込みができていないようです。それぞれの構想案について説明を受けていると、良い点や欠点もありました。早く基本構想のしぼり込みを行って、実施設計に取り組むように要望しました。なお、教育委員会と



勉強会

生涯学習センターで、給食センター整備事業基本構想について、教育委員会より説明を受けました。基本構想案場所については、A案からG案までと、それらの案に修正を加えた案も入れると、10案ありました。教育委員会としては、どの案に決定するのか、現時点では、しぼり込みができていないようです。それぞれの構想案について説明を受けていると、良い点や欠点もありました。早く基本構想のしぼり込みを行って、実施設計に取り組むように要望しました。なお、教育委員会と

給食センターを増改築を行うと、2,000食の給食を調理したいとのこと。また、町内の全小・中学校だけで言えば、そんなに必要とみませんが、将来的なこと(幼稚園などへの配食)や、万一の災害時の炊き出しについても、施設を活用することを考えているようでした。

サークル紹介

みなべ日本の踊り



毎週火・金曜日に、南部公民館で練習しています。毎月1回、和歌山から先生が来られて、指導していただいています。

活動

代表者 玉井 幸子
指導者 慧宗 篁山
会員数 6名

現在

昭和63年4月

発足

絵手紙教室



勉強のあと

奇数月と偶数月に、昼と夜に別れ、南部公民館での教室です。トマト・ピーマン・茄子を相手に書かせてもらえる幸せ。「ヘタでいい、ヘタがいい」をモットーにし、自分の絵を描きます。

活動

代表者 谷本 良子
指導者 市川 智津子
会員数 10名

現在

平成15年9月

発足

●一言(絵手紙教室)
作って楽しい、飾ってうれしい手作りカレンダーに挑戦しています。
ひたすら初心で集中し、心を贈る絵手紙で交流しましょう。

●一言(みなべ日本の踊り)

健康のために明るく、楽しく練習しています。
毎年1月の紀南舞踊まつりにむけ、頑張っています。お気軽にお入り下さい。

あとがき

3月11日に起きた東日本大震災で、被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。一日も早い復興を願っております。

わが町も、今後予想される東南海・南海地震や津波を考えると、改めて地震・津波の脅威を知りました。一人ひとりが、防災の意識をしっかりと持たなければいけないと感じます。万一のために、できることから備えていきましょう。
(原)